

# 四万十川条例に係る令和4年度目標指標について

## 1 目標指標とは（四万十川条例第36条）

目標指標：条例の目的の達成状況を把握し、進行管理を行うための指標（現状数値、目標数値、目標年度及び調査方法）

- ①水量が豊かで、かつ、清流が保たれていること  
②天然の水生动植物が豊富に生息し、生育していること  
③河岸に天然林が連なり、良好な景観が維持されていること  
④人工林が適正に管理され、天然林とともに多様な森林が形成されていること  
⑤季節ごとの優れた景観を有していること  
⑥住民の安全かつ快適な生活が保たれていること  
⑦川がこどもの遊びの場として活用されていること  
⑧川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること  
⑨流域内又は流域外との地域間交流が活発に行われているとともに、その活動が、住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと  
⑩情報通信網が整備され、その活用が図られていること

四万十川の将来像

具体化、調査方法、調査年度、目標数値を規定

目標指標（54項目）

清掃・農林業・地産・  
伝統行事など

住民主体の取組

協働

行政主体の取組

公共工事・森林整備・排  
水対策など

## 2 令和4年度目標指標について

### ○検討にあたっての考慮事項

「四万十川条例の将来像に沿った指標であること」「継続して数値の収集ができること（事業廃止や今後実施の見込みがないこと）」  
「公開可能なデータであること」「他の計画等と整合が取れること」「内容によっては目標値を設定しないこと（継続的な数値把握が目標）」

### ○令和4年度目標指標の概要

#### ○新規設定項目

四万十川条例の将来像に関わるものの関連する指標がなかったことから以下の指標を新たに追加

「四万十川（具同・大正）における流況」「四万十川における河床高の状況」「四万十川における魚類・底生動物の確認種数」  
「有害鳥獣の捕獲件数」「文化財等の活用状況」

#### ○削除項目（統合する項目を含む）

継続的なデータ収集が困難であることや実態の把握が困難であることなどから、以下の指標を統合または削除

「流域での学識者、有識者の活用件数」「農薬・化学肥料の使用量の低減」「NPO法人の活動団体数」「流域を支援する制度の会員数」「こどもエコクラブの登録数」

#### ○その他の変更

関連する指標の統合、小項目の追加、項目名・調査方法の変更、目標値の変更を実施

項目名	平成29年度	令和4年度
生態系及び景観の保全	16項目	18項目
四万十川の水量が豊かで、清流が保たれ、生態系が保全されていること	8項目	10項目
森林、農地及び草地が適切に管理され、環境に配慮した経営が行われていること	8項目	8項目
生活・文化・歴史の豊かさの確保	38項目	36項目
住民の安全かつ快適な生活が保たれていること	6項目	5項目
四万十川がこどもの遊び場として活用されていること	7項目	7項目
四万十川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること	5項目	5項目
地域間交流が活発に行われていること また、その活動が住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと	6項目	5項目
文化・歴史を保全活用していること	8項目	9項目
環境に負荷をかけないライフスタイルが保たれていること	6項目	5項目
合計	54項目	54項目